

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社ニッキ 本社・厚木工場建設工事 新工場棟	階数	地上3F
建設地	神奈川県厚木市上依知3029番-1,-3,-4,-5,-6,-7	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	250 人
地域区分	6地域	年間使用時間	7,200 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年8月 予定	評価の実施日	2021年7月16日
敷地面積	12,616 m ²	作成者	東芝フランドシステム株式会社 一級建築士事務所
建築面積	4,490 m ²	確認日	2021年7月16日
延床面積	13,242 m ²	確認者	東芝フランドシステム株式会社 一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.6

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
建物の要求仕様の精査と現実的で効果的な機能性を有する設計を行うことで環境に配慮した計画とした。	0	
Q1 室内環境 居室についてはJIS・JAS規格F☆☆☆☆の建築材料を全面に採用し、化学汚染物質の拡散が無いよう配慮した。	Q2 サービス性能 内装仕上げは防汚性の高い材料を採用し、清掃性が良好になるよう配慮した。また水洗いが可能な部屋は、床に排水溝を設け洗浄可能な構造とした。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地に対し、15%以上の緑地を確保している。また、景観条例に基づいた外部仕上げ色を採用することにより、周辺とバランスの取れた計画とした。
LR1 エネルギー 外壁材に断熱性能の高い材料を使用し、省エネ性能に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 構造体と仕上げ材を分離しやすい組み合わせとし、解体時の分別を考慮した計画とした。	LR3 敷地外環境 搬入車両の待機場所や駐車場を構内に設置し、工場周辺に渋滞緩和に考慮している。また、敷地周囲にはグリーンベルト(緑地帯)を設けた。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される